

令和6年11月26日

小野市議会議長 高坂純子様

総務文教常任委員会
宮脇健一

行政視察報告書

先般、実施しました総務文教常任委員会行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和6年11月12日（火）

2 視察メンバー

河島信行（委員長）・宮脇健一（副委員長）・高坂純子（議長）・掘井ひさ代
前田光教・山本悟朗・小林千津子・川名善三

3 視察先及び調査内容

- (1) 滋賀県守山市（人口：約8万5千人 面積：55.73Km²）
もりやまエコパーク環境センターについて
（ごみ処理施設及び付帯する設備の調査のため）

4 調査結果

滋賀県守山市

人口：約8万5千人 面積：55.73Km²

≪視察項目≫

もりやまエコパーク環境センターについて

≪視察内容≫

1. 施設概要

- ・施設名称 もりやまエコパーク環境センター
- ・施設規模 熱回収施設 71t/24h(35.5t/24h×2炉)
リサイクル施設 10.68t/5h
- ・所在地 守山市環境学習都市宣言記念公園1番地2
- ・敷地面積 約2.5ha
- ・工期 平成30年9月28日～令和3年9月30日

2. 設備概要

✓熱回収施設

- ・受入供給設備 ピットアンドクレーン方式
- ・燃焼設備 全連続燃焼式ストーカ炉
- ・燃焼ガス冷却設備 廃熱ボイラ方式
- ・排ガス処理設備 減温塔、ろ過式集じん器、脱硝反応塔
- ・灰出設備 焼却灰/ピット貯留
飛灰/薬剤処理後ピット貯留
- ・余熱利用設備 蒸気タービン発電設備1, 400kW (基準ごみ2炉運転時)

✓リサイクル施設

- ・受入供給設備 受入ヤード、受入ホッパ
- ・破碎設備 低速回転式破碎機、高速回転式破碎機
- ・選別設備 磁選機、粒度選別機、風力選別機、アルミ選別機

3. 建築概要

✓工場棟

- ・建築面積 5,264.68 m²
- ・延床面積 10,631.00 m²
- ・構造 鉄骨造/鉄骨鉄筋コンクリート造/鉄筋コンクリート造、地上6階建て

✓管理棟

- ・ 建築面積 450.80 m²
- ・ 延床面積 819.00 m²
- ・ 構造 鉄骨造、準耐火建築物、地上 2 階建て

✓計量棟

- ・ 建築面積 153.00 m²
- ・ 延床面積 187.00 m²
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造+屋根鉄骨造、地上 1 階建て

✓ストックヤード棟他

- ・ 建築面積 674.65 m²
- ・ 延床面積 585.60 m²
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造+屋根鉄骨造、地上 1 階建て

4. 施設の特徴

- ・ 70 トン級の小規模施設でありながら、高温高压（4MPa、400°C）の蒸気条件で高い発電効率（17.0%）を達成。
- ・ 発電出力：1400KW（基準ごみ 2 炉運転時）
- ・ タービン排熱を利用し、交流拠点施設の温水プールへの熱供給（熱利用率 1.5%）
エネルギー回収率（18.5%）=発電効率（17.0%）+熱利用率（1.5%）
- ・ 焼却の際に発生する熱エネルギーを利用する、サーマルリサイクルに取り組む。
（エネルギーの地産地消）
- ・ 煙突が目立たなく、景観に配慮した外観デザイン（最上階には琵琶湖を眺望できる展望スペースを設置）
- ・ 埋設廃棄物対策としてランプウェイを採用
- ・ バーチャル炉内体験やパッカー車のトリックアート等を設置し、充実した施設見学の実施。

5. 市民が共に学び、考え、行動する「環境学習都市」の実現

新環境センターの建設を契機として、平成29年10月23日に「環境学習都市宣言」を制定。この宣言は、「市民一人ひとりが守山の環境について、さらに理解を深めるとともに、学び、考え、行動すること」とする自治連合会からの決意表明を受け、市民の手によって定められた。

この宣言のもと、これまで先人たちが守り育ててきた恵まれた環境を未来へつないでいくために、令和3年4月にオープンしたもりやまエコパーク交流拠点施設と新たな環境センターを市民の環境学習と実践活動の拠点として「環境学習都市」の実現に向けた取組みを進めている。

6. もりやまエコパーク交流拠点施設

✓ 「環境」、「健康」、「交流」をはぐくむ活動拠点

守山市環境学習都市宣言記念公園交流拠点施設は、地域の新たな魅力づくりに大きく貢献する施設にするとともに、多くの市民が集い、憩うことで、市民に愛される施設として、「環境」、「健康」、「交流」をはぐくむ活動拠点となるよう整備された。

当該施設は、多くの方が来訪し、高齢者の生きがいつくりや健康増進はもとより、子どもたちの健全な育成を図り、新たな交流が生まれる施設を目指している。

・環境学習ゾーン

環境学習室／99.36 m²（定員 63 名）

工作室／91.03 m²（定員 54 名）

交流・学習コーナー／309.58 m²

キッチンスペース/47.58 m²

・健康増進ゾーン

温水プール／1,224.64 m²

プール 25m×幅 16.5m、8 レーン／412.5 m²

(水深 1.1m または 1.35m)

キッズプール／38 m² (水深 0.4m)

採暖室／6.75 m²

トレーニングエリア／53.1 m²

・交流促進ゾーン

多目的ホール／579.9 m²

【主な利用種目】卓球・バドミントン・フットサルなど

温浴施設／154.32 m² (定員 20 名)

畳コーナー／24.91 m²

多目的スペース ※屋外

・その他

守山市事務室／132.96 m²

リユースステーション／20.66 m²

管理事務室／99.36 m²

前庭等及び駐車場／13,919 m² (駐車場 97 台)

《所 感》

もりやまエコパーク環境センターを視察し、環境保全や循環型社会の実現に向けた具体的な取り組みを間近に見ることができた。施設内外の整備や運営、地域住民との連携の工夫を目の当たりにし、多くの示唆を得ることができたように思う。

もりやまエコパークでは、廃棄物を効率よく資源化するための高度な分別システムが導入されており、住民への啓発活動も積極的に行われていた。具体的な工夫として、わかりやすい掲示物や住民参加型のワークショップなどが、リサイクル意識を高めるうえで非常に効果的であると感じた。

学校や地域団体と連携した環境学習プログラムやイベントが数多く実施されており、地域全体で環境意識を向上させる取り組みが進められていた。このような住民主体の活動が、施設の機能を最大限に活用する基盤になっていることを改めて感じた。

もりやまエコパークで行われている分別の徹底や住民教育を参考に、小野市でも分別ガイドラインの見直しや、住民向けの講座やイベントを開催することでリサイクル率を向上させる取り組みを進められると考える。また学校や地域団体と協力しながら環境教育を推進するプログラムを立ち上げ、次世代に環境意識を浸透させる取り組みを強化することが重要だと考える。特に、現地視察やワークショップを取り入れることで、体験を通じた学びを提供できると考える。